



農協だより

URL : <http://www.ja-aki.jp>

平成 26 年 9 月

米集荷が始まります！

26年産の米価下落予想の報道が多く、出荷者の皆様には大変心配されている事と思います。また、8月の天候不順により、水稻の生育がやや遅れ気味となり、いもち病やカメムシの発生が予想されており、栽培に大変苦労されていると存じます。

JA安芸では、今年も9月25日から平成26年産米の検査が始まります。できる限り高く買取よう努力しますので、買取価格が決まり次第、出荷者の方々には日程等必要書類を送付いたします。多数の出荷をお願いいたします。

不用農薬適正処理を行います！

JA安芸では環境に配慮し、適正処理指導推進として不用農薬の適正処理を1年おきに行っております。平成24年は、一般不用農薬として適正処理した数量は、370kgありました。(農家が出す不用農薬は、産業廃棄物になるため適正に処理しなければいけません。)

今年度も不用農薬適正処理を行います。申込書を9月中旬までに各支店購買部へ配布しますので、希望の方は必要事項を記入後、各支店購買部へ提出してください。



農薬の引取りは11月になりますので、申込者へは後日詳細を連絡いたします。

処理代金 550円/kg (エアゾール缶の引き受けはできません。)

有効期限や登録が切れた農薬は使用できませんので、この機会に保管庫にある農薬を確認し、適正な処理をお願いします。

夏まき野菜苗を販売しております！

育苗センターでは、7月より回覧予約のキャベツなどの苗を育苗し、8月26日より各支店購買部で4,079鉢の販売をしました。

9月中旬には、はくさいやレタス・キャベツなどの苗も販売しますので、予約注文された皆様は圃場の準備をお願いします。



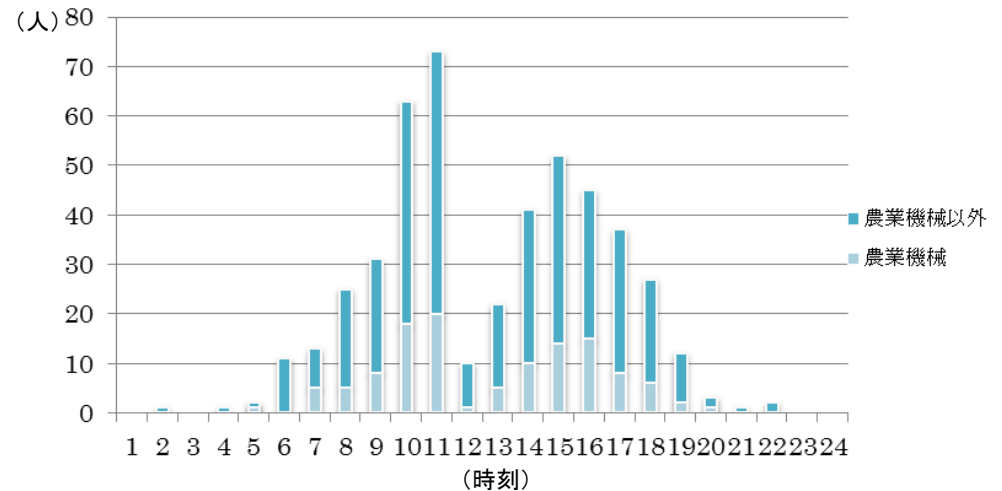
秋の農作業安全月間

9月1日～10月30日の2ヶ月の期間は、稲刈りや圃場の耕耘・草刈りなど農業機械を使用する機会が多く、例年農作業事故も多発しています。この期間を「秋の農作業安全月間」と定め、農作業を行うにあたり農作業死亡事故ゼロ及び、農作業事故発生防止の徹底をお願いします。

平成25年度の農作業事故発生件数は9月が年間で最も多く発生しており、特に作業開始後2時間頃に事故が多くなっています。疲れたまま作業を続けず、途中で休憩をとるなど安全に心がけて作業をしましょう。機械別では草刈り機による事故が最も多く、保護メガネの未装着でゴミや刃の破片が目に入り失明する。刃の取付けの不具合などで足等を切る。傾斜地で足が滑り転倒するなどの事例が多くなっています。

農作業事故は機械の操作中以外でも転倒や転落による事故も多く発生しています。安全確認を行って作業を行うと共に、保護具の装着を徹底しましょう。

平成25年農作業事故時刻別発生状況



○ 10時～11時及び15時～16時（農作業開始後2時間頃）での事故の発生が多い。

これから稲刈り時期となり、コンバインで排出口のワラの詰りやゴミの除去などを行う時に事故が多く発生しています。必ずエンジンやクラッチを切っ行うなど、ちょっとした注意で事故の防止となりますので事故が起こらないよう徹底してください。

農薬使用のチラシについて

8月末で「農薬使用安全月間」が終了となりますが、9月以降も病害虫の発生が多く農薬散布の機会が多いと思われます。農薬事故を減らすよう、農薬使用の基本についてのチラシを同封していますので、安全使用の参考にして頂くと共に、農薬散布後は履歴帳に記帳を行いまよう。